

会員だよりNO.36



第16期総会（併設・腎臓病勉強会）開催

阪大腎友会は平成26年11月29日に第16期総会を開催しました。

当会も平成11年10月の発足以来15年を経過し、第15期は何とか協賛金にて15周年記念食事会もできましたが、会員が30名と今後の運営を検討する時期に来ています。

腎臓病勉強会は、猪阪善隆先生より、「腎臓病における血液検査・尿検査の見方について」ご講演いただきました。

また、今回は諸般の事情により毎回実施してきた企業様による低たんぱく関連食品の展示を自粛しました。次回から従来とおり実施できますのでよろしくお願い申し上げます。



《 第16期 総 会 》

第15期活動報告・会計報告が承認されました。

(別紙：第15期活動報告・会計報告 参照)

《 腎 臓 病 勉 強 会 》

一、「腎臓病における血液検査・尿検査に見方」について



猪阪善隆先生

尿検査について 「尿検査は、非侵襲的で有能な検査！

→ → → → 症状や尿沈査で疾患を絞る。

※尿の採取方法/採尿時間による尿の種類・早朝第一尿また随時尿の中間尿が原則。※尿量 ※主な尿検査項目 ※尿試験紙 ※尿の色調/正常：淡黄色－黄褐色 ※尿比重 基準値：1.005－1.020※尿糖 ※尿ウロビリノゲン、尿ビリルビンでわかる病態と主な疾患 ※血尿をみたら・・・ ※蓄尿検査は食事指導に有効・蓄尿データをどう読むか 腎臓内科ホームページから計算できます。

血液検査の見方 ※クレアチニン/ 血液中のクレアチンが高いということは、腎機能が障害されているということです。

※CKDの診断は、血清クレアチニンではなく、GFRで行う。

※尿素窒素 (BUN) / 血液中の BUN が高いと云うことは、腎機能が障害されているということ以外に、たんぱく質の取りすぎ大量の消化管出血、脱水などでも上昇します。

※ナトリウム(Na) 血清ナトリウムの値を見ても、塩分摂取量はわからない→塩分摂取量は蓄尿で

※カリウム(K) 腎臓から排泄されるので、腎機能が低下すると高カリウムになりやすい。

※クロール(Cl) ※尿酸(UA) ※カルシウム(CA) ※リン(P) ※赤血球数(RBC)

※ヘマトクリット(Ht) ※ヘモグロビン(Hb) ※※※ 詳細は配布資料で確認ください。 ※※※

二、アプリ「快食番人」の紹介デモンストレーション

食事を記録して摂取した食品成分(たんぱく質・塩分・リン・カルシウムなど)がわかる。「快食番人」を

(一社)日本食品成分普及協会 代表理事 川瀬良一様から紹介頂きました。

詳細は、(一社)日本食品成分普及協会のホームページで確認ください。

以上